

寄贈図書リスト

地球外生命を求めて、マーク・カウフマン著、奥田祐士 訳、(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン、新書判、306 頁、1,100 + 税

4%の宇宙、リチャード・バネク著、谷口義明訳、ソフトバンククリエイティブ、376 頁、菊判、2,200 円 + 税

宇宙のダークエネルギー、土居 守・松原隆彦、光文社新書、258 頁、新書判、760 + 税

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

山口大学大学院理工学研究科教員

1. 教授又は准教授 1 名
2. (1) 山口大学大学院理工学研究科自然科学基盤系学域
(2) 山口県山口市
3. 理論物理学を専門とし、宇宙物理学に理解のある人を希望します。
4. 上記大学院に属し、大学院、学部（理学部物理・情報科学科 物理学コース）の教育研究および共通教育を担当
5. (1) 2012 年 4 月 1 日
(2) なし（定年 65 歳）
6. 関連研究分野の博士号取得者
7. ○履歴書○業績リスト○主要論文別刷（コピー可）○今までの教育、研究、社会貢献の概要（外部資金の獲得状況、受賞、学会や社会における活動等を含む、約 2,000 字）○研究計画と教育についての抱負（約 2,000 字）
8. 2011 年 11 月 30 日（水）必着
9. (1) 〒753-8512 山口県山口市吉田 1677-1
山口大学大学院理工学研究科
自然科学基盤学域

物理科学分野長 繁岡 透

(2) 同上 白石 清 Tel: 083-933-5681

e-mail: shiraish@yamaguchi-u.ac.jp

10. 封筒に「物理科学分野 教員応募書類在中」と朱書き簡易書留で送付。応募書類不返却。

H24 年度国立天文台プロジェクト枠研究員の公募について

国立天文台では、「国立天文台研究員（プロジェクト枠）」を以下の要領により公募いたしますので、奮ってご応募ください。なお一般枠については別途ご案内させていただきます。今回案内のプロジェクト枠との併願はいずれも可能です。

<国立天文台研究員（プロジェクト枠）公募要領>

<共通事項>

勤務時間の半分までは、所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで、所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。複数のプロジェクト枠への併願は可能ですが、希望する順を書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は、プロジェクト間で重複しないように調整されることにご留意ください。

1. 募集人員 若干名
2. 着任日：平成 24 年 4 月 1 日以降。ただし平成 24 年 9 月 30 日までは着任しなければなりません。
3. 任期：原則として着任日より 3 年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。但し、平成 16 年 4 月以降、既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が 5 年を超えないように設定されます。

4. 再任：個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り、再任が可能。再任後の任期は半年以上2年以下。但し、通算勤務期間に関する前項の但し書きが同様に適用されます。
5. 身分・待遇：短時間契約職員として採用され、大学助教相当の時間単価（期末手当等も含む）で週30時間の給与および交通費が支給されます。
6. 応募資格
博士の学位を取得した者または平成24年3月31日までに取得見込みの者。なお、平成24年9月30日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. 提出書類：応募書類は返却しませんので、写しで構いません。
(1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること）、(4) 主要論文の写し（3編以内）、(5) 研究計画書、(6) 推薦書（ある場合のみ添付）
8. 応募締切：平成23年11月30日（水）必着
9. 応募上の注意：封筒に「国立天文台研究員（〇〇プロジェクト枠）応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留で指定の提出先へ送付すること。

（個別事項）

○ハワイ観測所

募集分野・職務内容：ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を実施し、多様な天文学研究を進めるとともに、新装置の開発や将来計画の検討を進めています。本プロジェクトでは、すばる望遠鏡を用いた観測研究や開発研究を積極的に進める研究員を募集します。

研究員には、自身の研究と並んで共同利用に関する観測所の業務を一部担当していただきます。その主な内容は、すばるによる共同利用の支援、すばるによる戦略観測の推進、すばるに関する広報活動、計算機運用支援、各種研究会やユーザーズミーティングの世話人等です。自身の研究計画とともに、これらの業務に対する抱負や貢献の可能性も記述してください。

勤務地：東京都三鷹市、但しハワイ観測所（米国ハワイ州ヒロ市）への長期（3カ月以内）出張による業務も複数回ありうる。

提出先・問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台ハワイ観測所（三鷹） 野口邦男

Tel: 0422-34-3519

e-mail: kunio.noguchi@nao.ac.jp

○野辺山宇宙電波観測所（ASTEを含む）

募集分野・職務内容：野辺山宇宙電波観測所の45m電波望遠鏡またはASTE（アタカマ・サブミリ波望遠鏡実験）の技術開発、観測運用または関連装置開発などを行いながら、自身の観測的または開発的研究を推進する若手研究者を求めます。特に、45m鏡の新観測システム（新世代の受信機、分光計、解析ソフト）の開発やASTE用の連続波カメラ、サブミリ波受信機の開発などが重点課題です。希望する業務があれば、関連するこれまでの開発研究の経験とともに研究計画書を記述してください。

勤務時間のおよそ半分は観測運用や装置開発などの業務を行う義務を負います。なお、研究計画書には、携わる観測装置を明記するとともに、携わる観測装置を併願する場合は、それぞれの計画書を提出すること。勤務地：長野県南佐久郡南牧村野辺山（但し、チリへの長期出張もありうる）

提出先・問合せ先：

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2

国立天文台野辺山宇宙電波観測所長 川辺良平

Tel: 0267-98-4400

e-mail: ryo.kawabe@nao.ac.jp

○野辺山太陽電波観測所

募集分野・職務内容：野辺山太陽電波観測所では、電波ヘリオグラフとマイクロ波帯の強度偏波計群による太陽観測を行い、これらのデータと衛星や地上観測のデータを併せた多波長データ解析によって、太陽活動特にフレアにおける粒子加速の研究を行っている。また、取得したデータを公開し、国内外の研究者の共同利用に供している。本研究員は観測に参加するとともに、共同利用のためのソフトウェア開発、データ整理、および外部ユーザーへのサービスにあたる。特に、国内の大学等のユーザーの共同利用を推進する。また、電波データを用いた太陽活動の研究に携わる。

勤務地：長野県南佐久郡南牧村野辺山

提出先・問合せ先：

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2

国立天文台野辺山太陽電波観測所長 川辺良平

Tel: 0267-98-4400

e-mail: ryo.kawabe@nao.ac.jp

○水沢 VLBI 観測所

募集分野・職務内容：水沢 VLBI 観測所では、日本国内4カ所に口径20m電波望遠鏡を設置し、2ビーム VLBI 観測による高精度の位置天文計測を行っています（VERA計画）。この研究を推進し、観測システムの

さらなる高精度化のための観測方法・解析方法の研究を行う若手研究者を募集します。また、東アジア VLBI 計画では、VERA と韓国 KVN および中国上海天文台などと協力して AGN のジェット構造や高エネルギー領域、晩期型星や星形成領域の研究も行っています。また、国内の大学や研究機関と連携した VLBI 観測も重点課題として推進しています。希望する業務があれば、関連するこれまでの開発研究の経験と共に今後の抱負などを記述した研究計画書を提出してください。なお、勤務時間のおよそ半分は観測運用や観測結果の解析と整理などの業務を行う義務を負います。

勤務地：東京都三鷹市もしくは岩手県奥州市。採用後の研究・勤務内容によって定める。

提出先・問合せ先：

〒023-0861 岩手県奥州市水沢区星が丘 2-12
 国立天文台水沢 VLBI 観測所長 川口則幸
 Tel: 0197-22-7128 (水沢),
 0422-34-3643 (三鷹)
 e-mail: kawagu.nori@nao.ac.jp

○岡山天体物理観測所

募集分野・職務内容：岡山天体物理観測所では、188 cm 反射望遠鏡による共同利用観測を推進しています。また、岡山 3.8 m 新技術光学赤外線望遠鏡（以下、岡山 3.8 m 望遠鏡）計画を京都大学、名古屋大学、(株)ナノオプトニクス・エナジーとの協力により推進しています。さらに、国内の大学との協力ならびにアジア地域における国際協力を積極的に推し進めています。今回、これら観測所業務に意欲的に関わると同時に、自身の研究も進めていける研究員を募集します。観測所業務の主たる分担内容は、計算機管理を含む 188 cm 望遠鏡による共同利用の推進、岡山 3.8 m 望遠鏡計画の推進、岡山天体物理観測所に関する広報・普及活動、各種研究会やユーザーズミーティングの世話人等です。

勤務地：岡山県浅口市

提出先・問合せ先：

〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
 国立天文台岡山天体物理観測所長 泉浦秀行
 Tel: 0865-44-2155
 e-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp

○天文シミュレーションプロジェクト

募集分野・職務内容：天文シミュレーションプロジェクトでは、Cray XT4, NEC SX-9, GRAPE 等のスーパーコンピュータシステムの共同利用を推進し、また

将来へ向けての研究開発を進めています。本プロジェクトでは、共同利用と研究開発を推進する研究員を募集します。その主な業務は、以下のとおりです。

(1) 共同利用計算機の運用と環境向上のための研究開発

(2) 大規模シミュレーションによる研究推進
 勤務時間のおよそ半分を上限として、これらの業務に従事していただくことになります。

勤務地：東京都三鷹市

提出先：

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1
 国立天文台 天文シミュレーションプロジェクト
 小久保英一郎

問合せ先：

国立天文台 天文シミュレーションプロジェクト
 伊藤孝士
 e-mail: jinji2012@cfca.nao.ac.jp
 Fax: 0422-34-3840

○ひので科学プロジェクト

募集分野・職務内容：ひので科学プロジェクトでは、太陽観測衛星「ひので」搭載の 3 望遠鏡 (SOT, XRT, EIS) のデータの解析に基づいた太陽天体プラズマ研究を推進し、同時に次期太陽観測衛星 SOLAR-C の計画立案・開発実験や観測ロケット実験 Chromospheric Lyman-Alpha SpectroPolarimeter (CLASP) の開発研究に積極的に参加する研究員を求めます。研究員にはこの他、「ひので」の科学運用（観測）にも参加していただきます。

勤務地：東京都三鷹市

提出先・問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台
 ひので科学プロジェクト長 常田佐久
 Tel: 0422-34-3720
 e-mail: saku.tsuneta@nao.ac.jp

○RISE 月探査プロジェクト

募集分野・職務内容：RISE 月探査プロジェクトでは、2007 年に打ち上げられ 2009 年まで運用した、月探査衛星かぐや (SELENE) において、リレー衛星、VLBI 衛星、レーザ高度計による、月の重力・地形の高精度観測を行い、世界初の正確な月全球地形、月裏側の重力分布を取得しました。また、次期月探査、小惑星探査、火星着陸探査計画など将来の月惑星探査に向けた研究・機器基礎開発も行っています。本プロジェクトでは、「かぐや」による月重力場および地形データの解析と共同利用体制のサポート、および将来月惑星探査

の研究・開発を推進する研究員を募集します。
勤務地：岩手県奥州市もしくは東京都三鷹市
提出先・問合せ先：

〒023-0861 岩手県奥州市水沢区星ガ丘町 2-12
国立天文台 RISE 月探査プロジェクト長 佐々木 晶
Tel: 0197-22-7139
e-mail: sho@miz.nao.ac.jp
http://risewww.mtk.nao.ac.jp/

○ALMA 推進室

募集分野・職務内容：ALMA は、2011 年 3 月に最初の科学運用観測の募集をし、2011 年 9 月より科学運用を開始致しました。2012 年 2 月には次の観測公募が予定されており、ALMA を使った観測活動が本格的に始まりました。そこで ALMA では、日本国内での科学運用観測のユーザー支援業務、および、チリサイトでの観測システムの評価・観測支援活動を行いながら、以下のいずれかの分野を担当していただく研究員を募集致します。ALMA で得られる観測・評価データを十二分に活用することのできる意欲ある人材を広く求めます。

- (A) 日本や台湾の研究者と協力して、初期および本格運用に向けたサイエンスプロジェクトを立案・推進し、いち早く成果に結び付ける。
- (B) ALMA が提供するさまざまな観測モードや日本が担当するアンテナおよび ACA (アタカマコンパクトアレイ) システムなどの現地での評価活動を通して、ALMA 観測システムの較正法や、干渉計モード・単一鏡モードでの観測運用に関する研究開発を推進する。
- (C) 科学評価用データおよびアーカイブデータの活用を通して、ALMA データ解析ソフトウェアに関する研究開発を推進する。

勤務地：東京都三鷹市(但し、チリ、欧州、北米、台湾等に出張の可能性あります。)

提出先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 立松健一
問合せ先：
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室 奥村幸子
Tel: 0422-34-3782
e-mail: sachiko.k.okumura@nao.ac.jp

○重力波プロジェクト推進室

募集分野・職務内容：重力波天文学の実現に向けた LCGT 計画の推進や検出器高感度化の技術開発、ス

ベースで低周波重力波の検出をねらう DECIGO 計画のための基礎実験など、重力波検出のための開発研究に参加する若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分はプロジェクトとしての開発研究や院生等の指導・実験補助、プロジェクト推進などの業務を行う義務を負っていただきます。

勤務地：東京都三鷹市

提出先・問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 重力波プロジェクト推進室 藤本真克
Tel: 0422-34-3622
e-mail: fujimoto.masa-katsu@nao.ac.jp

○天文データセンター

募集分野・職務内容：国立天文台天文データセンター(ADC)では、SMOKA (<http://smoka.nao.ac.jp>) の運用と開発について、研究員を募集します。

ADCでは、その研究活動の一環として、すばる望遠鏡や岡山天体物理観測所 188 cm 望遠鏡、東大木曾観測所シュミット望遠鏡、東工大 MITSuME 望遠鏡群、広島大学東広島天文台かなた望遠鏡の観測データを公開し、天文学研究や教育活動を推進しています。

SMOKA の効率的運用を進めるとともに、データ品質評価や較正に積極的に取り組み、ADC が公開・保有するデータを活用した天文学研究を進める意欲をもった若手研究者を求めます。また、任期中に計算機システムの更新が予定されており、その作業にも携わっていただきます。

提出先・問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台天文データセンター長 大石雅寿
Tel: 0422-34-3575
e-mail: masatoshi.ohishi@nao.ac.jp

○先端技術センター

先端技術センターでは、主に可視光・赤外線天文学および電波天文学分野での開発研究を行っています。

センターで現在実施されているプロジェクトのみならず、将来必須となる基礎技術の開発研究を行う研究員を募集します。なお、開発的研究のみならず、それと関連する観測的研究を併せて行うことも可能です。

募集分野：

(A) 可視光赤外線天文学分野

光赤外グループでは、すばる望遠鏡用の次世代観測装置開発を行っています。今後の TMT 時代を見据え、共通の基盤技術(検出器開発、冷却光学機械系設計製作等)の蓄積を図り、光赤

外コミュニティの装置開発を支援できる体制作りを目指しています。自らの天文学研究のテーマを持ち、それを達成するために新しい技術開発を行う意欲のある人を求めます。

(B) ALMA バンド 10

ALMA バンド 10 (787-950 GHz) 受信機の開発を進めています。テラヘルツ帯における SIS ミキサーや入力光学系などの要素技術の開発を意欲的に進める若手研究員を求めます。勤務時間のおよそ半分はバンド 10 受信機の研究開発に従事する義務を負っていただきます。

(C) 電波カメラ

宇宙マイクロ波背景放射やミリ波-テラヘルツ帯の広視野・高感度観測用の超伝導電波カメラの研究開発を行っています。超伝導デバイスなどの要素技術開発や検出器システムの開発、それを用いた観測を行う若手研究者を募集します。

勤務地：東京都三鷹市大沢

提出先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台
先端技術センター長 常田佐久

問合せ先：先端技術センター

(A) 宮崎 聡

Tel: 0422-34-3871

e-mail: satoshi@subaru.naoj.org

(B) 鶴沢佳徳

Tel: 0422-34-3807

e-mail: y.uzawa@nao.ac.jp

(C) 関本裕太郎

Tel: 0422-34-3784

e-mail: sekimoto.yutaro@nao.ac.jp

○太陽系外惑星探査プロジェクト室

募集分野・職務内容：太陽系外惑星探査・研究のための装置開発、および、それらを用いた観測プロジェクトを推進する若手研究者を求めます。現在の主たる開発は地球型惑星探査用赤外線視線速度装置、直接観測用コロナグラフで、主たる観測プロジェクトは太陽系外惑星・円盤直接観測です。勤務時間のおよそ半分はプロジェクトとしての開発研究や院生等の指導・実験補助、プロジェクト推進などの業務を行う義務を負っていただきます。

勤務地：東京都三鷹市

提出先・問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 太陽系外惑星探査プロジェクト室長

田村元秀

Tel: 0422-34-3513

e-mail: motohide.tamura@nao.ac.jp

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

**国立天文台岡山天体物理観測所研究員
(プロジェクト枠)**

1. 2011 年 8 月（第 104 巻第 8 号）
2. 採用者なし

**国立天文台岡山天体物理観測所研究員
(科学研究費補助金)**

1. 2011 年 8 月（第 104 巻第 8 号）
2. 福井暁彦（名古屋大学太陽地球環境研究所研究員）
3. 2011 年 10 月 1 日

研究会・集案案内

**第 2 回 金環日食シンポジウム
「みんなで楽しむために」のお知らせ**

2012 年 5 月 21 日に起こる日食への関心が高まりつつあります。2012 年金環日食日本委員会は「みんなで楽しむために」をテーマとして第 2 回目となる金環日食シンポジウムを開催いたします。日食を見るイベントや企画をお考えの方に役立つ内容に焦点を絞り、日食観察時の眼の障害発生防止に関する情報、教育的なプログラムの事例発表や一般発表（口頭・ポスター）など、日食へ向けたさまざまな取り組みを互いに知り、情報共有の場となることをめざしています。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時：2011 年 10 月 29 日（土）11:00~16:30
意見交流会（懇親会） ※17:00~19:00

会 場：日本科学未来館 みらい CAN ホール
（東京都江東区青海 2-3-6）

主 催：日本天文協議会 2012 年金環日食日本委員会

共 催：自然科学研究機構国立天文台

（このシンポジウムは国立天文台研究集会です）

定 員：300 名

（参加・発表ともウェブ上で要申込・先着順）

参加費：無料

※意見交流会（懇親会）は参加費 3,500 円，館内の別会場で行います。

主な内容：

- ・金環日食の見え方，見どころの解説
- ・安全な観察方法の紹介
- ・2012 年金環日食日本委員会の活動紹介
- ・日食へ向けた教育的な取り組みの紹介
- ・一般発表（公募）
- ・ポスター発表，展示実演（公募）
- ・金星の日面通過に関する情報提供

ほか

申込・お問合せ：

2012 年金環日食日本委員会ホームページ
<http://www.solar2012.jp/>

「2012 年金環日食講習会」のお知らせ

2012 年金環日食日本委員会は、「サイエンスアゴラ 2011」に出展し，日食観察の方法を実演を交えてご紹介する講習会を開催いたします。2012 年 5 月 21 日に起こる金環日食への関心が高まりつつありますが，日食観察には危険が伴いますので，太陽を安全に観察するための正しい予備知識と準備が欠かせません。具体的な観察方法を体験していただける機会にしたいと思っておりますので，教育関係者をはじめ，日食を見せたい・伝えたい皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2011 年 11 月 19 日（土）10：30～14：15

会 場：東京都立産業技術研究センター
 新本部中 2 階 東京イノベーションハブ
 （新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前）
 「サイエンスアゴラ 2011」の会場です。

主 催：日本天文協議会 2012 年金環日食日本委員会

参加費：無料

参加申込：当日会場にて申込（先着順）

詳しくはウェブサイトをご覧ください。
 2012 年金環日食日本委員会ホームページ
<http://www.solar2012.jp/>

京都賞記念ワークショップ基礎科学部門 「観測的宇宙物理の進展：宇宙背景放射と X 線天文学」

内 容：第 27 回京都賞受賞者ラシッド・アリエ
 ヴィッチ・スニヤエフ博士を京都に迎え，
 博士の記念講演に続き，CMB，スニヤエフ
 ゼルドヴィッチ（SZ）効果，降着円盤等に關

する講演を，杉山 直氏，嶺重 慎氏，ユー
 ジン・チュラゾフ氏，牧島一夫氏，小山
 勝二氏といった各分野で日本を代表する
 先生方および海外研究者が行う。

司 会：佐藤勝彦氏，田中靖郎氏

開催日時：2011 年 11 月 12 日（土）13：00～17：30

開催場所：国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

Tel: 075-705-1234

参加費：無料

参加申込方法：HP 上の専用受付ページより

（http://www.inamori-f.or.jp/kpweek_workshop_b.html）

申込締切日：11 月 7 日（月）先着 150 名まで

連絡先：〒600-8411 京都市下京区水銀屋町 620

COCON 烏丸 7F 稲盛財団京都賞事務局
 「ワークショップ B」係まで

Tel: 075-361-7660

Fax: 075-353-7270

e-mail: comm@inamori-f.or.jp

主 催/公益財団法人稲盛財団

後 援/京都府，京都市，NHK

協 賛/国立天文台，日本天文学会，日本物理学会

そ の 他

IAU（国際天文学連合）の新規会員の希望申請 について

2011 年 9 月 30 日
 日本学術会議物理学委員会
 IAU 分科会委員長 岡村定矩

2012 年 8 月に中国北京市で開催される第 XXVIII 回 IAU 総会で，新しい IAU 会員（メンバー）が承認されます。新会員になることを希望される方は，以下のとおりウェブにて申請をお願いします。会員の方々は周囲にこのことを周知し，推薦すべき研究者をご存知の方はご本人に連絡し申請を奨励してください。

1. 申請期限：2011 年 12 月 25 日
2. 申請先：<http://www.utap.phys.s.u-tokyo.ac.jp/~iau/mem/index.php>
3. 申請の基準：「天文学・宇宙物理学または関連分野において博士号を取得し，かつその後 2～3 年以上研究者としての活動歴があること」
4. 申請方法：上記申請 URL から登録フォーム（本人記入が原則）に記入する。

5. 記入項目：候補者の氏名，生年月日，国籍，住所，電子メールアドレス，博士号取得年，取得大学，主要3論文の題目など，現在の勤務場所と職名（ポジション），所属を希望するIAUのDivision(s) and/or Commission(s) など。

（上記URLの登録フォームに従って記入）

（注1）IAU分科会は上記「申請の基準」に照らして審査を行い，推薦候補者リストを2月中にIAUに提出します。基準に満たないと結論された候補者は推薦されません。

（注2）現IAU会員の確認，また基準等の詳細については，IAUホームページ

<http://www.iau.org/> のサイトマップから，Administration → IAU Membership のページを開くとそこ（Individual Membersのところ）に必要な情報へのリンクがあります。

IAUについては，上記ホームページに加えて，天文月報の3回連続の特集記事「IAUとの関わりを考える」（2010年11月号664頁，12月号729頁，2011年1月号7頁）を参考にしてください。

編集委員会より

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいてまず必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり全部で最大20Mbyteまで送信できます。（それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが，やむをえない場合は分割してお送りください）。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。その場合は従来どおり，toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は yousuke.utsumi@nao.ac.jp まで，またその他のご質問は toukou@geppou.asj.or.jp までお願いします。

柏川伸成（天文月報編集長）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成（編集長），市來浄與，勝川行雄，鈴木 建，徂徠和夫，竹井 洋，野田寛大，浜名 崇，廣田朋也，前野将太，山崎 了
 平成23年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
 定価700円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 Tel: 0422-31-1359（事務所）/0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp
 会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会 2011年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）